一能登の椅子再生工場の挑戦ー



(株)エフラボ 会社概要



第9回 いしかわエコデザイン賞 2019

大 賞

捨てない時代の新提案ファニチャー

椅子再生工場の挑戦

株式会社エフラボ











- ●壊れたり古くなったりした椅子・ソファを独自の技術で生まれ変わらせ、 愛着のある椅子・ソファを更に長く使っていただくための取組みです。
- ●古くから建具や繊維業が盛んな地域で、豊かな経験と確かな技術をもった 職人が、長年培ってきた技能を椅子再生に役立てるとともに、若い世代へ 継承する役割を担っています。

審査委員コメント

建具や大工等を廃業した地元の職人を雇用し、その熟練の技能を活かして椅子・ソファを専門に修理している工場です。捨てられてしまう椅子を新品同様に生まれ変わらせていることに加え、職人の技術継承と若手の職業訓練を同時に実現している点を高く評価します。また、全国の協力会社とのネットワーク構築や海外への職人派遣など、対応エリアを拡げていることから、今後の市場拡大も十分に期待できます。



- ・設 立 平成19年6月5日
- ・社員 総数 40名
- ・全国協力工場 137社
- ・年商 4億5千万円
- ・資本金 5百万円
- 敷地面積 3,000坪
- ・建物面積 1.400坪

椅子の再生作業工程

1. 除菌·消臭

長年使ってきた椅子にはたくさんのホコリや細菌などがたまり、不衛生な状態 になっています。まずはそれを清潔な状態にするため、すべての椅子の茶替え 作業前にBactericide (パクテリサイド)を使って敬彦的に除菌・消息しま す。

Bactericide (バクテリサイド) とは、強力な酸化作用をもって短時間除菌するために開発された除菌・消息剤で、多くの総合所従の収息除菌に使われるなどその効果は抜軽です。この除菌・消息剤を減蓄室で約2時間紫外線照射し、このとさに発生する安定化二酸化塩素によって除菌・消息がされる仕組みです。



2. 生地をはがす(はがし)

程子の上張りの生地がとめられている計金(ステーブル)を、ペンチやアイス ビックのような工具を使ってテコの原理を用いながら1本ずつはずし、生地を まれいにめくっていまます。このとまフレームに係がっかないように当て布を しながら慎重に進めます。力はそれほどいりませんが、計金が折れて残ってし まわないようにするなど、簡単そうに見えますが、根気と技術を要する作業で す。

3. クッション材や木部の補修

クッション材の補修

形や大きさに合わせてウレタンを切り、棚を噴霧して接着していきます。 弾手 のウレタンから厚みのあるウレタンまで、新品同様の座り心地の良い椅子にす るためにクッション部分を再生するきめ細かい作業です。



木部の補修

傷ついたり塗装がはがれた木部の補修をします。汚れを磨いて落とし、着色 (塗装)していまます。着色は下塗り・中塗り・上塗りと3回繰り返します。 ガタついて不安定になった脚の補強や調整も行います。





4.生地の型出し

生地を散断するための型を作成します。基本的に手作業で行われています。積 子の形にぴったり合った型に仕上げるため、実際に使う生地と似た素材の生地 で截断し、実際に張ってみながら微調整していまます。これを2~3回腸り返す ことで型が死化します。

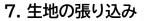
5.生地の裁断

型に合わせて生地を罷断します。手作業で行ったり、細かいものや数量が多く リピートが見込まれるものについてはCADデータに落とし込み機械で行ったり と、特性に応じた作車を行っています。生地の柄や細胞を考えたり、聴型や仕 上がりなど後工程を登譲したりしながら報断していきます。



6.生地の縫製

裁断された生地をミシンで随い合わせていきます。布地やビニールレザーから 本革まで、さまざまな素材の生地に対応するため、厚い生地でも縫うことので きる工業用ミシンを使用します。それでも分便い革などは、本革専用の革透き 機を用いて部分的に透いて輝くしてから縁動します。

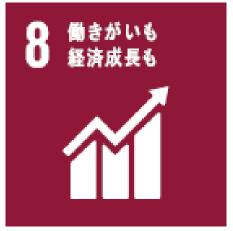


総製した生地を針金 (ステーブル) で止めたり、燗を用いたりしながら張り込んでいきます。ステーブルの間隔を揃えたり、生地の引っ張り加減を均一にして凹凸など厚みのバランスを保ったりと観人の繊細な感覚が求められる作業で
**



関連するSDGs













資格取得の推進と充実の社内研修







椅子張り技能士 1級/2級 建築施工管理技士2級 家具手加工2級

etc...



技能継承と新技術の導入で持続可能な工場運営

CAD·CAM·スキャナーシステム

アパレル用の自動裁断機を椅子生地裁断仕様にカスタマイズ。椅子生地の型取から裁断までをより正確かつ効率的に行うことができます。

エフラボでは高速CAM (自動裁断機) 3台に小型カメラを搭載し、職人の持っている技術と発想を機械に取り込むことにより、職人とIT、専門機械を融合し、作業環境の改善にも成功しました。









NC旋盤による木材加工

広々とした作業スペースを備えた木工所では、家具職人の技術にNC旋盤加工 技術を組み合わせ、細やかな技術が必要な修繕から大ロットの新規製作まで、 様々なニーズにお応えできます。









全国137箇所の協力工場



北海道地7	海道地方 5社	
東北地方	35社	
関東地方	27社	
中部地方	41社	
近畿地方	18社	
中国地方	4社	
四国地方	1社	
九州地方	6社	







今後「直して使う」が本格化

家具市場 コントラクト市場 約1.5兆円

椅子市場 約1,500億円











海外ホテル・国内クラシックホテル・医療福祉関係施設 個人所有ソファ等、あらゆる椅子・ソファの相談を受けています

大量生産・大量消費

直して使う

価値観の浸透





